



平成 26 年 8 月 6 日

各 位

上場会社名 株式会社小田原機器
代 表 者 代表取締役社長 入山 圭司
(コード番号：7314)
問合せ先責任者 常務取締役経理部長 峯岸 正博
T E L 0465-23-0121

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成26年2月12日に公表した業績予想を下記のとおり修正することとなりましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成26年12月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想数値の修正
(平成26年1月1日～平成26年6月30日) (単位：百万円・%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	1,559	265	271	251	163円11銭
今回発表予想(B)	1,757	220	229	221	143円80銭
増減額(B-A)	197	△44	△41	△29	
増減率(%)	12.7	△16.8	△15.3	△11.8	
(参考)前期実績 (平成25年12月期 第2四半期)	1,397	38	50	48	31円68銭

2. 平成26年12月期第2四半期累計期間の個別業績予想数値の修正
(平成26年1月1日～平成26年6月30日) (単位：百万円・%)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	1,559	269	248	161円64銭
今回発表予想(B)	1,757	216	208	135円47銭
増減額(B-A)	197	△52	△40	
増減率(%)	12.7	△19.4	△16.2	
(参考)前期実績 (平成25年12月期 第2四半期)	1,397	46	44	29円23銭

3. 修正の理由

(1) 連結業績

売上高については、平成26年4月1日の消費税8%増税に対応したソフトウェアの受注に加え、その他の製品についても消費税増税前の駆け込み需要が発生した結果、第2四半期において売上高は前回発表予想より増加する見通しとなりました。

しかし、利益面につきましては、客先要求の高度化により開発工数が増加したこと及び棚卸資産評価損を計上したことにより売上総利益率が低下した結果、前回発表予想を下回る見通しとなりました。

(2) 個別業績

個別業績の修正の理由につきましては、連結と同様の理由によるものであります。

なお、通期の業績予想（連結・個別）につきましては、今後の先行き不透明な事業環境を勘案し、現時点におきまして、前回発表予想から変更はありません。

【注】 本資料記載の業績予想につきましては、現段階の入手可能な情報に基づいて判断しておりますが、実際の業績は様々な要因により上記の予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上